

各 位

会 社 名 日本板硝子株式会社  
 コード番号 5202  
 本社所在地 東京都港区三田三丁目5番27号  
 代 表 者 森 重樹  
 問 合 せ 先 IR部長 源甲斐 洋行  
 電 話 03-5443-0100

**業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年8月5日に公表した2022年3月期通期の連結業績予想につき、下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

**I. 連結業績予想の修正について**

2022年3月期通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）の修正

（百万円）

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益(注)
前回発表予想(A)	560,000	24,000	19,000	12,000	10,000	88円75銭
今回修正予想(B)	590,000	20,000	18,000	12,000	10,000	88円71銭
増減額(B-A)	30,000	△4,000	△1,000	-	-	△4銭
増減率(%)	5.4%	△16.7%	△5.3%	-	-	△0.0%
参考：前期実績	499,224	13,067	△17,171	△16,316	△16,930	△208円32銭

(注) 基本的1株当たりの当期利益については、A種種類株式にかかる配当金の影響を考慮した数値を記載しています。

**II. 修正の理由**

2022年3月期通期業績予想は、特に欧州の子会社を中心とした事業環境を踏まえて修正しました。主に建築用ガラスに対する需要は強いなか、売上高は上方修正いたします。

しかしながら、部品不足による自動車生産の制約は、下期に徐々に回復すると見込んでいましたが、依然として不透明な事業環境が継続しています。またエネルギー価格の高騰を価格への転嫁やコスト削減等で吸収に努めて参りましたが、全て吸収することが困難となり、営業利益は下方修正いたします。

一方で、持分法による投資利益の増加と税金費用の減少を見込んでいます。このため、当期利益および親会社所有者に帰属する当期利益の予想については据え置き、中期経営計画（RP24）で掲げた財務基盤の回復を推進します。

## 2022年3月期通期業績予想

売上高を上方修正。自動車生産の状況、原燃材料価格高騰を踏まえ営業利益は下方修正。持分法による投資損益の好調に支えられ、当期利益と純利益は据え置き、RP24の重点施策「財務基盤の回復」を引き続き推進

(億円)	2022年3月期 Q3累計実績	2022年3月期 通期予想 (前回)	2022年3月期 通期予想 (今回)	2021年3月期 通期実績
売上高	4,430	5,600	5,900	4,992
営業利益	145	240	200	131
COVID関連個別開示項目後 営業利益	145	240	200	△ 30
個別開示項目（その他）	44	50	40	△ 53
個別開示項目後営業利益	189	290	240	△ 83
金融費用（純額）	△ 90	△ 130	△ 130	△ 110
持分法による投資損益	56	30	70	21
税引前利益	154	190	180	△ 172
当期利益	105	120	120	△ 163
純利益*	86	100	100	△ 169

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

(注) 上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

以 上